

■科目名			
知的障害児の教育III Education for Children with Intellectual Disabilities III			
■開設年度	■区分	■学科名	■分類
2021	専修専門科目	特別支援教育	
■単位数	■履修期	■履修条件	■開講期
2	3期		前
■担当教員			
肥後祥治			
■代表教員名及び連絡先等			
099-285-7767 higosho@edu.kagoshima-u.ac.jp			
■オフィスアワー			
水曜日 13時～14時			
■講義の概要（目的・内容・方法）			
全15回の授業を対面形式で実施する予定である。 この授業では、知的障害児の指導方法論の一つである応用行動分析の基礎とその応用について学ぶ。授業前半は、行動上の問題へのアプローチを、後半にはコミュニケーション行動を中心とする行動形成に焦点はあてる。本授業の目的は、大きく3つある。 1つ目は、行動分析の基礎を理解し、行動上の問題に対処する基礎的知識と仮想事例に対して指導プログラムの概要をかけるようになる。 2つ目の目的は、行動形成の基本を理解し、仮想事例に対してコミュニケーション行動の指導プログラムの概要をかけるようになる。 3つ目の目的は、授業を通して、他者とコミュニケーションを図りながら、問題解決をする経験を積み、協働して子どもの指導に向かう基礎をつくることである。（ただ第3の目的は、対面授業の場合のみ） ただし状況によっては遠隔形式の授業へ変更する場合がある。			
■授業の到達目標及びテーマ			
1. 行動分析の基本概念を説明できる。 2. 行動分析による低減の方法論を説明できる。 3. 行動分析による行動形成の方法論を説明できる。 4. 仮想事例への指導プログラムの概要を立案できる。			
■授業計画			
本授業は、毎回対面形式で行う予定であるが、状況によっては、遠隔授業への変更も想定している。授業形態を変更する際は、予めmanabaのコースニュースや授業内において通知する。 1. オリエンテーションおよび問題解決シミュレーション1 2. 問題解決シミュレーション1のプレゼンテーション 3. 行動障害基礎論 4. 行動低減の基礎1：行動低減基本戦術 5. 行動低減の基礎2：機能分析の基礎 6. 行動低減の実際1：機能分析の応用 7. 行動低減の実際2：指導プログラム作成演習 8. 行動低減の実際3：プログラムのプレゼンテーション 9. 問題解決シミュレーション2 9. 行動形成の基礎1：問題解決シミュレーション1のプレゼンテーション/強化刺激 10. 行動形成の基礎2：課題分析と連鎖化 11. 行動形成の基礎3：プレマックの原理とトークンエコノミー 12. コミュニケーション行動形成1：指導戦略の変遷 13. コミュニケーション行動形成2：コミュニケーション指導チャート 14. コミュニケーション行動形成プログラム作成演習 15. まとめと確認試験			
■授業外学習（予習・復習）			

本授業で焦点をあてる行動分析は、多くの受講者がこれまで学んできていない知識体系であろう。基礎的知識の理解がなければ、授業展開の中で扱う基本戦術、応用への実際の理論が理解できないと思われる。単位取得を希望する者は、授業後の教科書を用いた復習を徹底することで、各段階ごとの理解を確実にする必要がある。またそれぞれの回で教員の提示する課題や予習をおこなってから授業に参加のこと。

■受講要件

特別支援学校教員免許取得予定のものに限る

■成績の評価基準

確認試験の結果と授業中に行われるグループ活動の成果の積極的なプレゼンテーションおよび、授業中の討議や質疑への積極的な関与に対する加点、を総合して行う。

■教科書・参考書

1. 豊かな生活につながるコミュニケーションを育てる. 肥後祥治. 明治図書
2. 子どもたちの抱える行動上の問題への挑戦. 肥後祥治. 明治図書

■教師としての資質能力に関するチェック項目

3. 教育方法に関する理解

【A教職の理解】教育方法の理論に関する理解を深め、複式指導や少人数指導、教材開発や活用、授業分析など、指導法や授業改善について理解している

9. 学習者の心理・発達に関する理解

【C学習者理解】子どもの発達や心理など、子ども理解のための基礎的な知識を身に付けており、それらを生かして子どもの発達を分析することができる

11. 特別支援教育に関する理解

【C学習者理解】特別支援教育に関する基本的な知識を身に付けており、それを生かした具体的な指導・支援の在り方を構想することができる

アクティブ・ラーニング

プレゼンテーション；

振り返り（ミニッツ・ペーパー等）；

アクティブ・ラーニング（その他）

アクティブ・ラーニング(授業回数)

15回中6回

■実務経験のある教員による実践的授業

■その他

授業形態（対面・遠隔）については、コロナウイルス感染症の影響、その他の理由により変更する場合がある。